

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)	◎	乗用車販売店（役員）	・今後の受注は、新型車効果が期待でき、販売についても秋口までメーカーから安定した配車状況が見込めるため改善に期待したい。
	◎	観光型ホテル（専務）	・秋のシーズンになるため、団体の問合せが少しずつ入り、徐々に良くなると予想している。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・2～3か月先は業界的にも旅行シーズンとなり、来客数は増える見込みである。また、今後もイベントや学会などのシーズンを迎えるため、増加が予想される。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・長期気象予報では10月上旬まで暑さは続くが、現在が暑さのピークで徐々に気温も下がり気味になると予想される。今後客の需要が伸び、相場も一層安定し状況が良くなると期待ができる。ギフトではマンゴーが前年より110%増加し、潜在的な需要が少しずつ伸びている。
	○	百貨店（企画担当）	・政権の不安定さはあるものの国内消費は想定よりも高い水準を維持しており、加えて、海外からの入国者数も更に増加を予想しているため、プラス方向に動くと予測している。
	○	スーパー（企画担当）	・米不足が備蓄米の流通により落ち着いてきている。米の価格が安定することによって、消費動向がその他の商品に回り、売上安定につながると予測している。
	○	家電量販店（従業員）	・暑くなり冷房器具の需要が増している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・半期決算があるためやや良くなる。
	○	乗用車販売店（役員）	・9月の仮決算商戦に向け、イベント企画を進めているため、来客数や注文数の増加が期待できる。
	○	観光型ホテル（総務）	・例年通りの傾向と、10月からのインバウンドの回復が期待できる。
	○	旅行代理店（職員）	・国内旅行で、特に九州内バスツアーや大阪・関西万博関連の販売が好調に推移しており継続する。
	○	旅行代理店（統括者）	・インバウンドは引き続き好調が予測され、国内旅行は沖縄の大型レジャー施設に注目している。
	○	旅行代理店（統括者）	・政治的な変化や日米貿易の締結により株価の上昇が期待できる。
	○	通信会社（社員）	・前年度は上向き傾向であったが、今年度は前年度より更に良くなっている。特別なトピックはないが、従業員のモチベーションアップを講じたことが良くなった要因と推察される。
	○	テーマパーク職員	・夏休みや秋のレジャーシーズンを迎えるに当たり、猛暑予想もあり近郊の屋内レジャーを選択することが見込まれ、来館者数の増加が期待できると予想している。
	○	ゴルフ場（営業）	・秋季の繁忙期に入り、来客数増加を見込み、景気は良くなると予想している。
	□	商店街（代表者）	・給与は上がっているが、物価が高くなっているため、実質所得が減少しているのが実情である。見込みを予想しても、気温が高く客の動向が読むことができなくなっているため、気候変動が回復しなければ、景気は良くならない。
	□	商店街（代表者）	・物価高が続く限り景気は変わらず低迷する。
	□	商店街（代表者）	・今後景気が上向く要因が全く考えられないため、今の悪い状況が続くと予想している。
	□	商店街（代表者）	・当面この現状が続くのではないかと予想している。
□	商店街（代表者）	・連日の猛暑の影響やテレビ等で不要不急の外出を控える報道があり、来街者が少なく商店街の通りは午後から激減しているため、昼過ぎまでの売上がそのまま1日の売上になっている状況である。	
□	百貨店（企画担当）	・気候を実感しながら購入する客が多く、実売期に入るまで特に苦戦すると予想される。	
□	百貨店（企画担当）	・百貨店は衣料品を中心に不振が続いているが、衣食住の物販だけでなく飲食やサービスも幅広く展開しているショッピングセンターでは、来客数及び売上の前年比では増加傾向が続いている。客は必要な物を取捨選択した上で、必要であれば購入する消費行動がみられるため、一概に消費が落ち込んでいるわけではない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・自家需要は堅調で紳士雑貨やインテリア、し好性の高いブランド品・舶来雑貨の価格上昇はあるものの、購入意欲は高く、来客数や商品単価は好調である。また、国内外クルーズ船の寄港や夏休み、お盆の帰省客など家族連れの増加で、周辺商店街を含め人の動きが一層増している。各種コード決済やクレジット決済の促進では、国内・インバウンドの来客数の増加により観光需要と客単価の上昇が期待できる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（業務担当）	・物価や米価の高騰など消費マインドに影響を与える課題が続いており、来店が減ると商況は厳しい。これから季節の端境期に入るため、状況が好転するのは難しい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営企画担当）	・長引く値上げの影響で、高額品についての動向も厳しくなってきた。出費先についてもよりシビアに選定する傾向がうかがえるため、景気の上向きを期待することが難しい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・選挙が終わり、新内閣発足を仮定してもさほど景気回復にはつながらないと判断しており、物価高騰は続いていくため景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・多くの人は収入が増加しないため単価上昇の負担が大きくなっており、消費意欲は強くない。景況感が好転する要素が見当たらず、横ばいか悪化すると推測している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・景気が上向き可能性が見当たらない。最低賃金の値上げや給付金の支給、消費税の減税、ガソリン値下げなど何も変わらない状況では手立てがない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・政府による物価高対策が具体的かつ有益的に実施されない限り、景気回復は依然として難しい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・1品単価の上昇が続くため、景気は好調を維持する可能性が高い。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・今月の売上は前月比及び前年比が105%程度で推移しており、このまま猛暑が長引けば好調な数字が期待できる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・コンビニの客から感じたことではないものの、選挙の結果から従来の閉塞感が解放されている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・価格に敏感であることには変わらないが、消費行動にマイナス要素はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・政治の停滞により物価高対策への期待が薄く、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・政治の混乱や貿易交渉、猛暑など予断を許さない事態が多く、先行きが懸念される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当・店長）	・例年になく今後も暑い時期が続くため、冷たい飲料や食品は売上が伸び、温める弁当やスナック等は売行きが伸び悩むのではないかと予想している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・政治の混迷が続くと予想されるが、3か月後の10月に条件が良くなるとすると、暑さが少し和らぎ客の消費意欲が出てくることである。それ以外には景気が良くなる条件は全く浮かばない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・先行きの不透明感が拭えないため、消費意欲がないと予想される。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・6月は気温上昇が特殊要因となり好調であった。しかし7月は業界全体が落ち込んでおり、次月以降もプラスになる要因がなく苦戦が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・現時点では好転する兆しがなく良くなる要因がない。今後の世界情勢によっては悪化の可能性もあり、楽観できない状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・景気が変わるような要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・米国の関税交渉が決着したが、従来よりも関税率が高く様々な経済活動にはマイナスになると予想される。消費の先行きは不透明である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・7～8月のお中元の需要が一段落し、コーヒーの販売量が落ち着いてくる。前年と比較すると売上や購入量は変わらないと見込んでいる。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・現状が映画館要因で好調に推移しているため、ヒット映画の落ち着きと比例するように全館の集客も落ち着いてしまうと見込んでいる。一方で、当ショッピングセンターとしては新店舗の開業も控えており、加えて地元をモデルにした映画の公開もあるため、今より落ち込むことは予想しにくく景気は変わらない。

□	高級レストラン（経営者）	・現在がかなり悪い状況であるため、今後気温が下がり来客数が増えることを期待している。
□	一般レストラン（スタッフ）	・物価高騰により仕入原価が高騰しており、何らかの経済対策が実施されるまでは何も変わらない。
□	観光型ホテル（支配人）	・物価高騰、働き方改革、人手不足等を考えると、今後も動きは変わらない。
□	タクシー運転手	・週末にかけて夜の人出は多いが、タクシー利用が遅い時間帯に集中しており、すぐに深夜利用は終了してしまう。
□	タクシー運転手	・物価上昇、関税問題など不確定要素が多いものの、人出やインバウンドの流れからも、現状維持は確保できる。
□	タクシー（統括者）	・客の行動、単価に大きな変化がないと推測している。
□	通信会社（営業担当）	・起爆剤となるようなイベント等がない。
□	ゴルフ場（従業員）	・前年と同様に猛暑が予想されるが、前年と同水準の入場者は維持できると予測している。
□	競馬場（職員）	・現状では、景気動向を左右する要素は見当たらない。
□	美容室（経営者）	・2～3か月先のこの業界ではまだ夏の様相も考えられ、おしゃれの意欲には程遠い状態が続くと予想している。美容業界では涼しくならないと新商品が出ないため、早い景気回復は望めず、景気対策の手立てに期待している。
□	美容室（店長）	・景気が良くなる話題がないため、状況は変わらない。
□	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客からの受注は好調で、仕事は幾分増えてはいるが、景気を左右するほどではない。
□	設計事務所（所長）	・現在の物価上昇に比べて、仕事の対価としての収入が増えてこないと予測される。さらに、世界の情勢が不安定であるため、先行きは不透明である。
□	設計事務所（所長）	・結果が出るのに3か月ほど掛かり、今月の状態が先の見通しとなるため変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	・競合他社の商談は多くあるものの、商談来客数はあるため今後もこの状況は続くと言われる。
▲	商店街（代表者）	・商店街の各店舗では、猛暑の影響で客足が悪いと当店の状況からも予想される。物価上昇が続いており、日々の生活の買回品に消費し、その他の商品の売上は落ち込むのではないかと危惧している。そのため、小規模小売業者や小規模の中小企業等は、賃金を上げるに上げられない状況になっている。
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・猛暑が続けば売上は低くなり、具体的な景気対策の効果がなかったため、今後数か月の売上は期待できない。
▲	百貨店（経理担当）	・物価高の影響は今後も続くと予想され、売上は余り期待できない。また、猛暑の影響もあり来客数の減少が見込まれる。
▲	百貨店（営業企画担当）	・景気の不安定に加え、猛暑や残暑により不要な外出を控えるなど景気が良くなる材料が見当たらない。
▲	百貨店（リーダー）	・お中元時期の終わりや今後も続く暑さのため、秋物への意識が向かないと予想している。
▲	コンビニ（経営者）	・給付金を若年層に支給しても使わない人が多い。
▲	コンビニ（経営者）	・客がコンビニエンスストアを利用するか微妙なところである。より安価な商品を求めていく動きが目立っているため、厳しい状況が続いており経営が不安である。
▲	衣料品専門店（店長）	・問屋に他店の状況を問い合わせても同様に暑さの影響で出足が鈍いようである。涼しい時間帯に来店するために、客から閉店時間確認の電話が入ったことがある。
▲	衣料品専門店（店員）	・残暑が続くと、前年と同様に秋物の売行きに不安がある。
▲	乗用車販売店（総務担当）	・米国の関税の影響で輸出減少が予想され、景気は悪くなる。
▲	住関連専門店（従業員）	・酷暑で来客数が増加する見込みが少ない上に、8月はクリアランスセール時期となり、単価も上がりにくい。
▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・来客数減少が続くと予想している。
▲	スナック（経営者）	・物価高に加え、猛暑のため街では人出が少なく、平日、週末共に来客数が減っている。10月まで暑さが続くと予想され、引き続き外食は控える傾向にあると予測している。
▲	観光型ホテル（管理）	・仕入原価の上昇や人件費の増加に見合う値上げができず利益を圧迫し続けているため、景気は悪くなる。

	▲	都市型ホテル（販売担当）	・宴席数が減少しており、10月はかなり厳しい。
	▲	通信会社（役員）	・生活必需品の値上げが止まらない。加えて、賃上げが望めない状況が続いている。
	▲	通信会社（企画担当）	・光回線の販売量が上向ききっかけが見当たらず、悲観的になっている。
	▲	観光名所（職員）	・物価が上昇しており、購入意欲も下がってくると予想される。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・8月から10月にかけての予約状況が少し鈍い。
	▲	理容室（経営者）	・2～3か月先は涼しくなるため、業種的に来店客のサイクルが長くなる。そのため、新規客の増加がない限り暑い夏と売上を比較すると若干減少する傾向にある。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・10月の最低賃金の大幅な値上げが想定されるため、更なるコスト増加に加え、人材不足と採用難も進むと予測される。
	▲	設計事務所（代表）	・金利や物価の上昇の影響で、景気がやや悪くなる。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・現在の対策としては、物価高に対して収入を上げるしかないと考えている。賃金や収入率を上げることにより税収を上げ、景気対策の予算を出すサイクルを考え、政府による経済の抜本的な対策を講じることに期待している。
	×	観光型ホテル（営業）	・夏は団体旅行が少ない時期であり、近年その傾向は強くなっている。また、大阪・関西万博の駆け込み需要が予想され、終了するまでは芳しくない見通しである。
企業 動向 関連  (九州)	◎	—	—
	○	化学工業（総務担当）	・損益の前年比では回復傾向にあり、同様の状況が続くと予想される。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・取引先において大きな受注情報があり、現在詳細を確認しているところである。海外の大手半導体企業の進出により九州は盛り上がりを見せているが、自社関連では全く恩恵はない。
	○	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・3か月内示からみて当初生産計画に対し7～8%上振れしている。このままの状態であれば上期は前年同等の売上を確保できる見込みである。
	□	農林水産業（経営者）	・需要は原料と変わらないと予想するが、特に今年は暑い夏でビールの消費に合わせた焼き鳥など大いに期待できる。課題は秋口以降の原料不足や、供給不足である。加えて原料不足により工場稼働も大きな問題と認識している。
	□	家具製造業（従業員）	・数少ない大型案件はあるが、ベースとなる中小規模の案件が少ないため、業界全体の好景気にはつながっていない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・輸出問題は多くの課題を残すとみられ、客も方向性を検討するために様子をみている状態で、この状況はしばらく変わらない。
	□	輸送業（従業員）	・現在の物価高が少しでも落ち着き、安定しないと物量は大きく動かない。
	□	輸送業（従業員）	・米国の関税交渉が落ち着いたが、従来よりも増加しており、個人消費の落ち込みが輸入量等に直結するため、回復にはまだ時間が掛かる。
	□	輸送業（総務担当）	・引き続き物価高や米国関税の情報に人々が振り回されると予想される。最低賃金の上昇による中小企業の対応や政局不安などでますます混迷を極めており、インバウンドの恩恵はどこまで続くのか先行き不透明である。いずれにしても物量が増える見込みが立っておらず、現状維持が見込まれる。
	□	通信業（経理担当）	・第1四半期の業績について、売上、利益共に初期の計画どおりに推移しており、今後も堅調な動きが見込まれる。
	□	通信業（統括者）	・中小企業を中心に顧客の積極的な設備投資の意欲はみられず、今後の景気に大きな変化はないと想定している。
	□	金融業（従業員）	・スーパーマーケットやコンビニの売上は増加しているが、住宅や家電の販売は弱含んでいる。また、物価上昇によるコスト高や人手不足のほか、海外景気や各国の通商政策の地元経済に及ぼす影響を見極めるため慎重な姿勢を示す先が見られる。
	□	金融業（調査担当）	・参議院選挙の結果を受けて国の経済対策が混迷を深めており、物価高に対応する効果的な支援策の早期打ち出しは期待薄であることから、当面の景気は現状維持で推移する。

	<input type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・参議院選挙の結果を踏まえ、物価対策を始め、政府による総合的な景気対策が講じられるか否かにより今後の景気が左右される。
	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	・米国の関税の影響の見極めが続くと予想されるため、景気の状態は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	・当面の間、余り変動がないと予想される。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔広告〕（担当者）	・自治体プロポーザル入札などの案件は増えつつあるが、民間の広告案件は少ない。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（社員）	・何らかのきっかけがあると動き始めることができるが、現状ではまだ見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数に大きな変化がない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（経営者）	・8月から値上げの影響が懸念され、状況次第では産地の景気にも変化が出てくる。特に生地屋など賃金改定で苦しい立場になると予想され、上乘せする製品単価が難しい状態になっているのが現状である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・米国の関税問題が、今後の我が国の景気にどのように影響するのか見当がつかず、先行きが見えないため不安定な状況となっており、発注先の今後の見通しを懸念している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（総務担当）	・顧客の情報では、若干景気が悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・各顧客から来月は減産すると情報が入り、先行きが暗い状況である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	通信業（職員）	・今年度の受注目標と比較すると、営業件名情報が不足している。7月までの営業活動及び情報収集で充当できていないため、受注量が伸びない可能性がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業（営業）	・企業は、労働力不足、コスト高などの影響により、利益は当初の予想より下方修正すると推察される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店（従業員）	・当社を取り巻く環境は、相変わらず厳しい状況である。世界の情勢についても今後3か月で劇的な変化は起こらず、景気はやや厳しい状況が続く。
	<input checked="" type="checkbox"/>	経営コンサルタント（社員）	・消費者の節約傾向は強くなり、生活必需品のみの購入に絞ってくるため、景気はやや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・6月補正予算では、当県や周辺の県の市町村の調査や計画策定の委託業務が少ないことから、今後は発注が少なくなることが見込まれる。このため、今後は景気はやや悪くなることが予想される。
	<input type="checkbox"/>	繊維工業（営業担当）	・3か月後に賃金が上がると、対応できない工場は閉鎖する可能性があり、また、外国人の受入れも非常に難しい。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・ここ数か月は受注回復の見込みがないと予想される。
雇用 関連	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	—	—
(九州)	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・受注件数については減少傾向が続いており、それに対して応募数も減少していくと予想される。また、新規企業からの問合せが少なく、既存企業若しくは過去に取引のあった企業からの注文が多くを占めている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・今後も求人数に大きな影響を及ぼすイベントなどはなく、現状が続く。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・関税の発動により、顧客は先行き不透明で危惧している。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（社員）	・季節商材の買換えや旅行など個人消費の増加が期待できる。一方、猛暑の影響で農作物などの価格高騰を懸念している。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・減税など活発に論議されているが、実施されるかは不透明であり、給付金の支給等もないまま進んでいくのではないかと危惧している。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新規求人数は減少が続いており、人手不足が様々な業界で発生しているため、当面同じ状態が続いていく。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・求人に対する紹介件数が前年比では10%以上増加するなど企業の採用意欲は高い状況にあるが、原材料価格の高騰を理由として企業が廃業するなど景気の動向が不透明な状況である。

□	学校 [大学] (就職支援業務)	・米国の新政権が打ち出す米国への輸入品に対する関税措置や国際紛争対応など様々な政策が国際経済の不確実性を高めている。日本政府や企業も具体的な対応策を模索している状況が続き、先行きの不透明感が非常に強い。台湾大手企業の工場稼働、第2工場の建設計画の進展など九州地域の経済・雇用は堅調なもの、物価高騰は収まる気配が全くなく、実質賃金が改善する見通しは立たず、景気が上向く実感がない。
▲	人材派遣会社 (社員)	・例年、定期異動後の社員補充枠を派遣で対応することが多い季節であるが、企業が分社化などで社内調整しようとする動きがあり、今年は新規問合せが少ない。
▲	学校 [専門学校] (就職担当)	・物価上昇が続いており、消費者の節約志向がしばらく続くと予想され、身の回りの経済活動全体がやや鈍化する可能性がある。
×	—	—